

# 2019年度 環境経営レポート

株式会社クロサワエンジニアリング

対象期間 2019年4月1日～2020年3月31日

レポート発行日：2020年5月22日

# 1. 組織の概要に関する情報,対象範囲

## (1)事業所名及び代表者氏名

事業所名 株式会社クロサワエンジニアリング

代表者名 代表取締役社長 黒澤 哲

## (2)所在地

【株式会社クロサワエンジニアリング】

(本社) 〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央5-4-10 ベルスベイサイド3F

(事業グループ)

(営業開発部・ICTグループ) 〒230-0051 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央5-4-10 ベルスベイサイド3F

(寒川営業所) 〒253-0101 神奈川県高座郡寒川町倉見3

(小田原営業所) 〒256-0816 神奈川県小田原市酒匂7-6-1

(第二事業グループ) 〒188-0001 東京都西東京市谷戸町2-1-1

(第三事業グループ) 〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町19

(第四事業グループ) 〒183-8511 東京都府中市東芝町1

(大阪営業所) 〒597-0002 大阪府貝塚市新町4-6 森ビル3F

(羽田空港事務所) 〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-1-3 新東京郵便局、羽田分室内

(3)事業活動の内容  
業務請負事業(アウトソーシング)、  
労働者派遣事業、有料職業紹介事業、  
ICTソリューション事業

(4)事業の規模  
売上高: 28.55億円(2019年度)  
従業員数: 113名 (他、請負/派遣社員 529名)

(5)環境管理責任者氏名及び担当者  
環境管理責任者 取締役・部長 横澤 寛之  
担当者 山口 和也/藤田 佑磨  
TEL 045-503-2650

【対象範囲】  
認証・登録対象組織 株式会社クロサワエンジニアリング

## 2. 環境経営方針

### 基本理念

- 1、当社は、「取引先」、「社員」、「クロサワエンジニアリング」の三者の利益の追求を信念とし、事業を通じ、社会に貢献することを目指しています。
- 2、地球環境の保全に努め、自然と調和し、サービスの提供およびすべての事業活動において環境経営に配慮した事業運営を行うものとします。

### 行動方針

1. 私たちは省エネルギー、省資源、資源の再利用に配慮した事業運営を行います。
2. 社内広報活動および社内教育により全社員に環境経営活動をインフォメーションし、自主的で環境経営に配慮した事業運営活動およびお客様の環境経営活動に貢献する活動を行います。
3. 環境関連法規の遵守および環境に関する数値実績の把握、環境経営行動が継続に改善できるように活動を行います。
4. 重点推進項目  
環境負荷の低減および環境改善を図るために、次の項目について重点的に取り組みます。
  - 1) 二酸化炭素排出量の削減
  - 2) 廃棄物の削減
  - 3) 水使用量の削減
  - 4) 自らが生産・販売・提供するサービスに関する環境目標として、事務業務の効率化  
・・・紙使用量の削減に努めます。

平成30年7月18日  
株式会社クロサワエンジニアリング  
代表取締役 黒澤 哲

# 3. 短・中期環境目標

項目	基準期間のデータ	年度目標	中期目標	
	2013年度	2019年度	2020年度	2021年度
1. 二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	51,770 kg-CO <sub>2</sub>	6%削減 48,663 kg-CO <sub>2</sub>	7%削減 48,146 kg-CO <sub>2</sub>	8%削減 47,628 kg-CO <sub>2</sub>
1.1 電力使用量(kWh)	58,039kWh	6%削減 54,556kWh	7%削減 53,976 kWh	8%削減 53,395 kWh
(kg-CO <sub>2</sub> )	(29,310kg-CO <sub>2</sub> )	(27,551kg-CO <sub>2</sub> )	(27,551kg-CO <sub>2</sub> )	(27,258kg-CO <sub>2</sub> )
1.2 ガソリン使用量(L)	9,675 L	6%削減 9,094 L	7%削減 8,998 L	8%削減 8,901 L
(kg-CO <sub>2</sub> )	(22,462 Kg-CO <sub>2</sub> )	(21,113kg-CO <sub>2</sub> )	(21,113kg-CO <sub>2</sub> )	(20,890kg-CO <sub>2</sub> )
2. コピー用紙使用量削減(kg) (自らが提供するサービスに関する配慮)	1,107kg	0%削減 1,107 kg	0%削減 1,107 kg	0%削減 1,107 kg
3. 廃棄物排出量 (kg)	1,700 kg	24%削減 1,292 kg	26%削減 1,258 kg	27%削減 1,241 kg
4. 水道使用量(m <sup>3</sup> )	268m <sup>3</sup>	3%削減 260 m <sup>3</sup>	4%削減 257 m <sup>3</sup>	5%削減 254 m <sup>3</sup>
5. 環境教育の実施率向上	2015年度から目標に設定	入社時の教育100% 教育実施率95%以上	入社時の教育100% 教育実施率95%以上	入社時の教育100% 教育実施率95%以上

# 4. 環境経営計画

## 1. 省エネ(電力使用量削減、ガソリン使用料削減)

- 空調温度の適正化 冷房:28°C、暖房:20°C
- 長時間未使用PCの電源オフ  
(スクリーンセーバ 10分以内)
- 昼休みの天井灯消灯(1H)
- LED化、省エネタイプのコピー機への切替
- エコドライブ、エコカーの導入



## 2. 省資源(使用量削減)

- カラーコピーの削減、両面/縮小印刷等
- ペーパーレス業務の工夫  
電子データ化、ペーパーレス会議の実施  
**IT化の推進**
- 節水



## 3. 廃棄物管理の徹底

- 可燃ごみ発生量の抑制(紙の廃棄・リサイクル化)



## 5. 環境目標の実績

項目	環境目標 2019年度	実績 2019年4月～2020年3月	達成 状況
1. CO <sub>2</sub> 削減	2013年度比6%削減 48,663kg-CO <sub>2</sub>	2013年度比37%削減 32,647kg-CO <sub>2</sub>	○
①電力使用量削減 *注1	2013年度比6%削減 54,556kWh	2013年度比44%削減 32,761kWh	○
②ガソリン使用量削減	2013年度比6%削減 9,094 L	2013年度比28%削減 6,937 L	○
2. コピー紙使用量の削減	2013年度比0%削減 1,107 kg	2013年度比3%増加 1,138 kg	×
3. 水使用量削減	2013年度比2%削減 260 m <sup>3</sup>	2013年度比14%削減 223m <sup>3</sup>	○
4. 廃棄物排出量削減	2013年度比24%削減 1,292 kg	2013年度比55%削減 704 kg	○
5. 環境教育の実施率向上	実施率 95%以上	100%	○

\*注1 電力の排出係数:0.505

# 6. 取組結果とその評価、次年度の取組内容

## 二酸化炭素排出量の削減 【電力使用量、ガソリン使用量の削減】

### 取組み

◇空調温度の適正化 冷房:28℃ 暖房:20℃程度

◇節電対策の強化 昼休みの天井灯消灯

◇パソコン管理の適正化 スクリーンセーバ 10分以内

◇サーバーのクラウド化

◆蛍光灯のLED化、複合機の省エネタイプへの入替実施

◆ペーパーレス会議の実施

◇ガソリン使用量の削減 ・エコドライブの徹底 ◆エコカーへの切替実施

目標	結果
94%	63%
2013年度比 37%削減	

ムダなアイドリング  
はやめる



エコカーへの  
切り替え

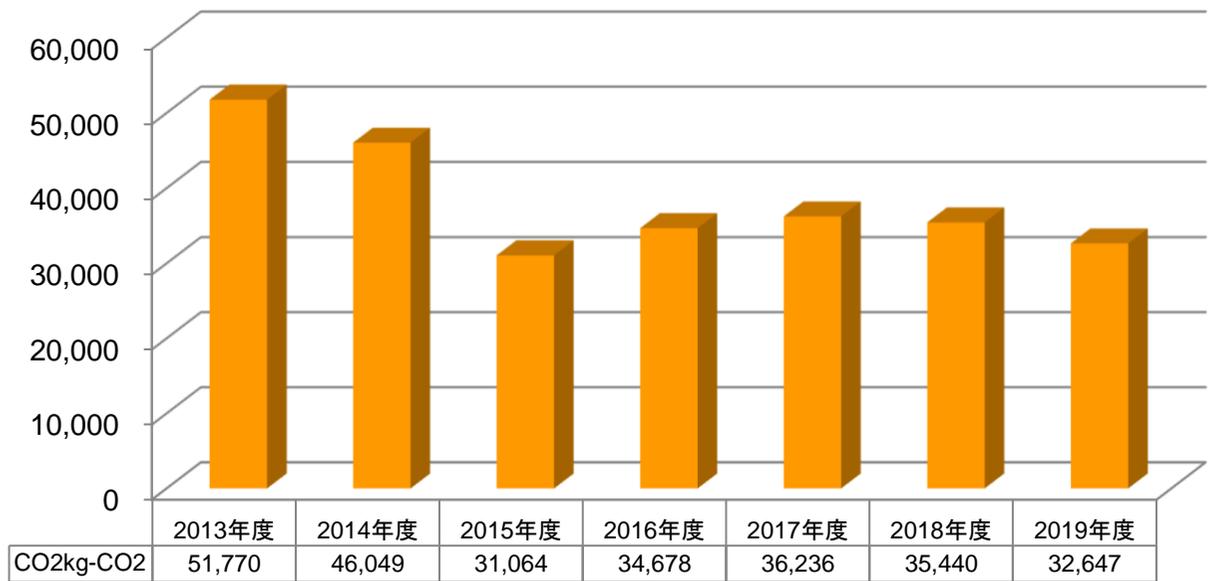


### 評価(結果と次年度の取組み)

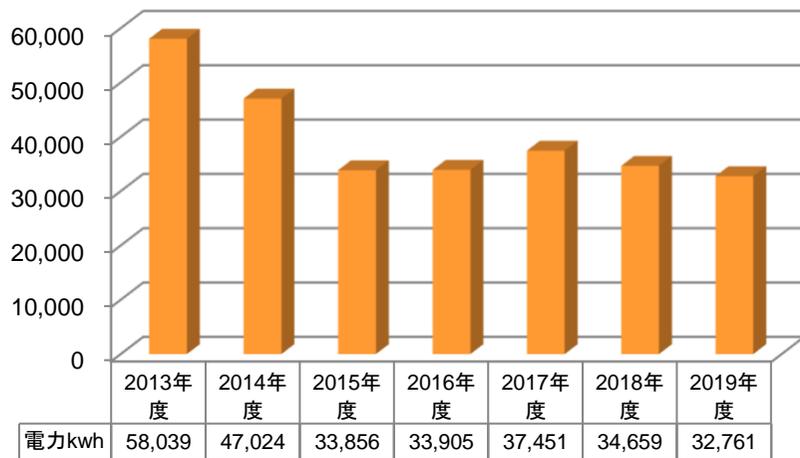
ここ数年の節電、省エネの施策(LED照明化、サーバーのクラウド化、複合機/PCの省エネタイプへの入替、エコカーへの切替等)によりCO2削減目標の37%削減と大きな成果になりました。 今後も定着化した省エネに対する姿勢を重視して削減対応に努力します。

# 実績 CO2の推移【電力量の推移とガソリン使用量の推移】

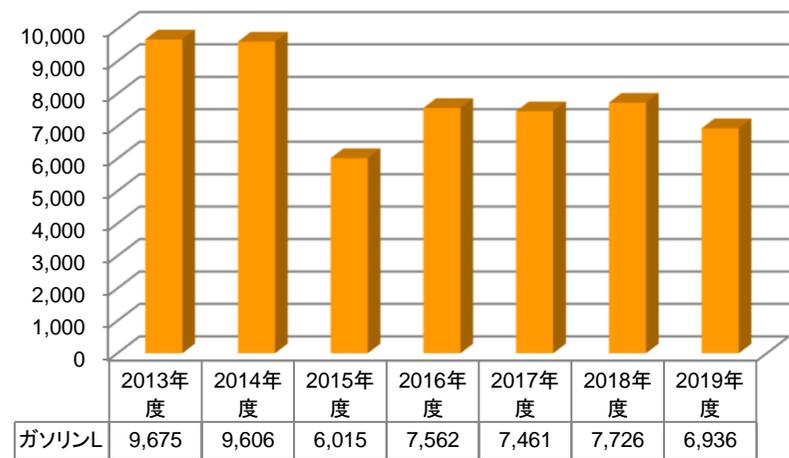
CO<sub>2</sub>



電力



ガソリン



# コピー使用量の削減

【事務業務の効率化】

## コピー使用量の推移

### 取り組み

- ◇カラーコピーの削減
- ◇縮小コピー/裏紙コピー実施
- ◇ペーパーレス業務の工夫
- ◆**ペーパーレス会議の実施**

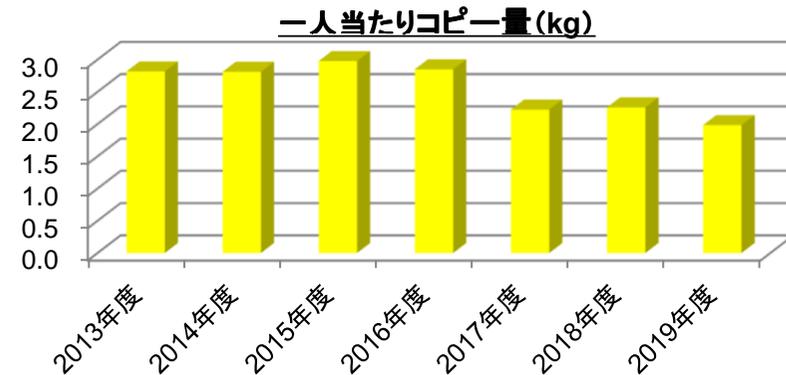
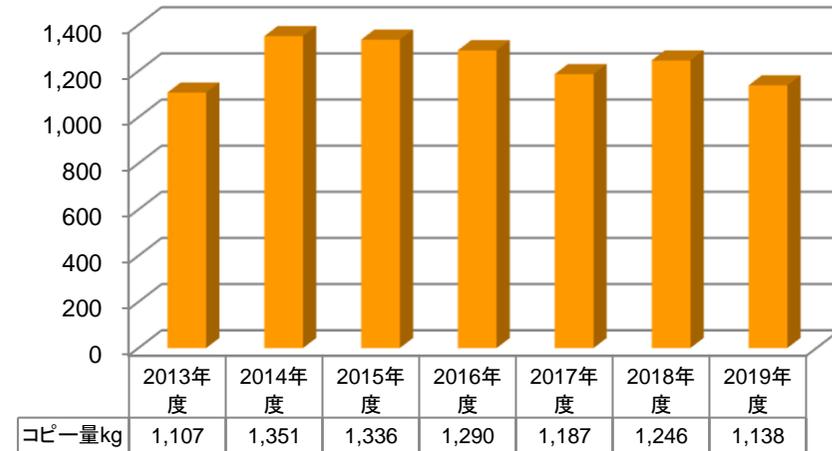
目標	結果
100%	103%
2013年度比 3%増加	

タブレット使用の会議実施



### 評価(結果と次年度の取り組み)

タブレット利用によるペーパーレス会議の実施は定着化しましたが、目標値を3%超える結果となってしまいました。コピー使用量は、社員の人数が増えてきたことにより作成する書類が増え、また、活発な営業活動により印刷物が増えました。しかしながら、一人当たりのコピー数は削減できている。意識向上を図り、目標達成をモチベーションに更にアイデアを出し合いペーパーレス業務に取り組む。



# 水道使用量の削減

## 取り組み

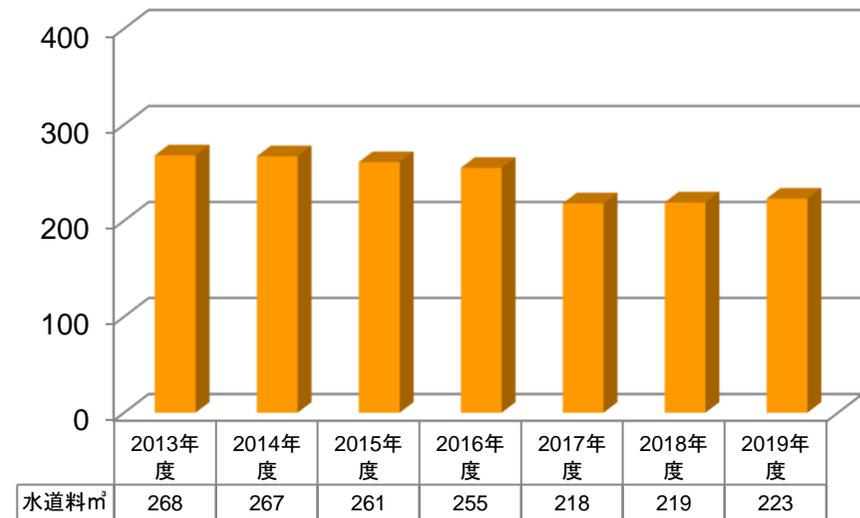
◇節水意識の継続

目標	結果
97%	86%
2013年度比 14%削減	

## 評価(結果と次年度の取り組み)

社員の生活用水が主体であり更なる水道使用量の削減は難しいが、節水努力を継続します。

## 水道使用量の推移



# 一般廃棄物排出量の削減

## 取り組み

### ◇可燃ごみ発生量の抑制

- ・紙の廃棄・リサイクル化

### ◇コピー使用量の削減

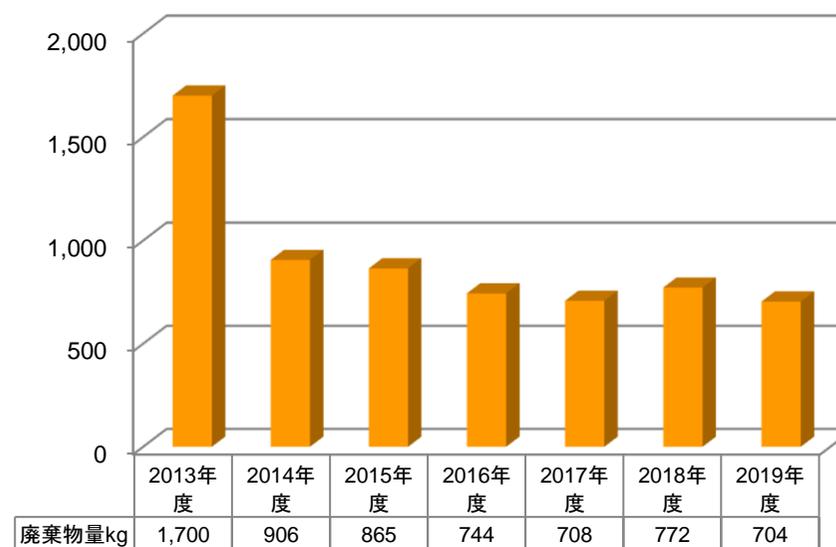
- ・業務のペーパーレス化の実施

シュレッダー大型化による  
廃棄書類の  
リサイクル化



目標	結果
76%	45%
2013年度比 55%	

## 一般ごみの推移



## 評価(結果と次年度の取り組み)

社員の人数が増えて、それに伴い可燃ごみも増えてきましたが、目標を達成。紙の廃棄のリサイクル化継続により削減ができました。2020年度は一人ひとりがごみを発生させない、排出しないという省エネ姿勢を重視し、教育を実践することによって削減していきます。

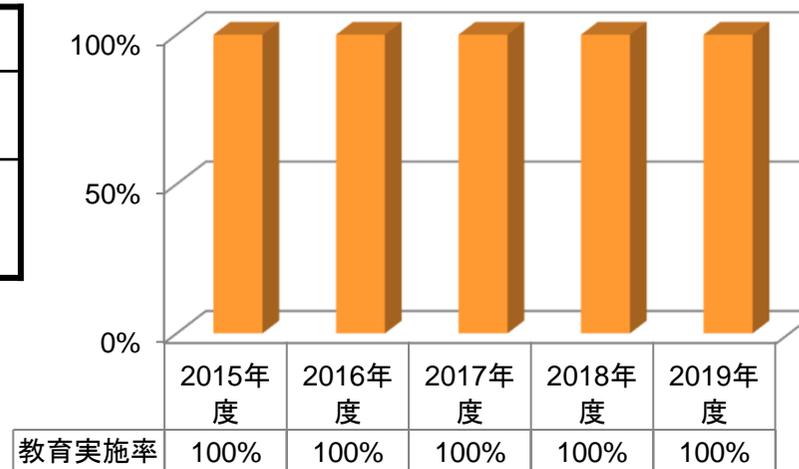
## 環境教育の実施率向上

### 取り組み

- ◇環境教育の確実な実施
- ◇教育資料の改版
  - ・最新の環境問題の収集

目標	結果
95%	100%
100%	

### 教育実施率の推移



### 評価(結果と次年度の取り組み)

環境教育資料については新聞/TV等の最新の環境問題を取り上げ毎年改版し、絵、写真やグラフの挿入で分かりやすくしている。対象社員全員へ実施し、成果が得られている。今後もそれぞれの業務や役割に応じた教育訓練を適切に実施する。

# 7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

適用される主な環境関連法規等は次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物の分別、契約書、廃棄業者の許可証の確認
資源有効利用促進法	電池、PCの自主回収義務
家電リサイクル法	特定家庭機器(テレビ、電気冷蔵庫等)の小売業者による引取義務
消防法(危険物)	防火管理者届出義務
フロン排出抑制法	第一種特定製品廃棄等実施者の引渡義務、書面の交付等
小型家電リサイクル法	事業者の責務(使用済小型電子機器の再資源化の促進)

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘は過去10年間ありません。

## 8. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 見直しの結果

#### 1. 環境方針の変更の必要性

( 有り ・ 無し ) 改善担当者: 期限:

#### 2. 環境目標の変更の必要性

( 有り ・ 無し ) 改善担当者: 期限:

#### 3. 環境経営計画及び環境経営システム等の変更の必要性

( 有り ・ 無し ) 改善担当者: 期限: